

## 第35期長崎県社会教育委員紹介

所属 コミュニティーサロン「井戸端みんなでワハハ」 代表

氏名 藤田 直子

### 主な活動

2012年、長崎県「女性力でながさきを活性化プロジェクトチャレンジ事業」に採択され、自由な発想でインフォーマルサービスをおこなう笑顔の集まるサロン「井戸端 みんなでワハハ」を運営しています。

主婦たちが楽しみながら地域住民に憩いの場を提供し、生きがいづくり、仲間づくり、健康づくりをおこなっています。

特に、みんなでワハハ『新聞ちぎり絵』は、ながさき土曜学習応援団をはじめ、子どもから高齢者まで出前講座を開催し、その普及に力を入れています。

また、平成29年に住民発信で世界自閉症啓発デー「ブルーライト in かわたな」実行委員会を立上げ、地域、行政、学校と協働し自閉症の啓発活動をおこなっています。シンボルカラーの「ブルー」をイメージして作る和紙おり染めペットボトルランプは、出来上りが一つ一つ違い、多様性の大切さを表現しています。「みんな違ってみんないい」取組の輪は広がっています。



【新聞ちぎり絵】



【和紙おり染めランプづくり】

### 社会教育に対する思い

社会教育は“おもしろい”、社会教育には決まりがないと思っています。なんでもできるとしています!!

「ヒラメキをカタチに!!」それはチャレンジすることです。思いを知ってもらうこと。最初は小さな一歩ですが、温かい一歩、感動の一歩となっていきます。動いていると、協力の輪が広がり、地域の理解が生まれ、みんなそれぞれに出番があって自分の持っているチカラを存分に発揮し、ステキな化学反応が起きます。連携して地域づくりができるのです。大人と子どもと一緒に楽しく活動すること。社会教育は楽しいことが一番です。子どもは、支えられて育っていきます。周りの人に関心を持ち、理解し、自ら社会に関わろうとする「支える側」に育っていつてくれることを願います。お互いの立場を尊重し、認め合いながら、それぞれが心地よい居場所をみつけられますように。